

年末・年始は犯罪が増加します

地域ぐるみで防犯活動を



昨年の年末・年始特別警戒隊出発の様子

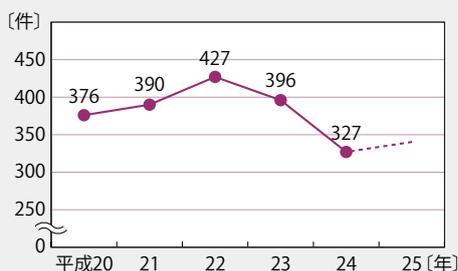
これから年末の慌ただしい時期から年始にかけては人の動きが多くなり、全国的に金融機関やコンビニエンスストア、深夜営業の飲食店などを狙った強盗のほか、自動車や自転車などの盗難、また、振り込め詐欺などの犯罪が増加する傾向にあります。

市においても例外ではなく、これからの時期は例年犯罪が増え、また、全犯罪発生件数でも、平成22年から24年まではやや減少したものの、今年は増加傾向にあり、自転車やオートバイなどの盗難、車上ねらいや空き巣ねらい、万引きや振り込め詐欺などが、私たちの生活の身近なところで起こり続けています。

どうしたらこれらの犯罪をなくし、安心して暮らせる社会をつくることのできるのでしょうか。今回は、市における犯罪の発生状況と特徴を把握し、さらに地域や事業所などの取り組みを紹介しながら、一人ひとりがどのように防犯対策に取り組んでいけばよいのか考えます。

● 問合先 総務課行政係 (☎232123)

市内における全刑法犯罪の認知件数の推移 【グラフ】



左の【グラフ】は、市内における全刑法犯罪の認知件数（警察において発生を認知した件数のこと）の過去5年間の推移です。平成22年から24年まではやや減少していますが、平成25年10月末現在の暫定値は319件（昨年同期比+52件）と、増加傾向にあります。

犯罪発生状況と傾向

市内では、どのような犯罪が発生しているのでしょうか。まずは現状や特徴を知ることが、犯罪から身を守る第一歩です。比較的年末に増加傾向にある犯罪のうち、主なものについて、その発生状況など、まずは知ることから始めましょう。

強盗

金融機関や店舗などを狙った強盗は、頻繁に発生する犯罪ではありませんが、市内では平成23年10月にコンビニエンスストアを狙った強盗が発生しました。現金が奪われ、店員が軽傷を負いましたが、未だに犯人は検挙されていません。一般的には、年末に特に多くなる犯罪です。

【対策】カラーボールの設置や、防犯カメラを設置し、常に作動状況の点検を行う。深夜営業する店舗は、複数の従業員が勤務するなど日ごろからの対策が必要。



盗難・空き巣

「鍵を掛ける」。このごく普通のことをしなかったことによる盗難被害が多発しています。無施錠率の全国平均が約40%であるのに対し、伊万里警察署管内の無施錠率は約70%と非常に高くなっています。

【発生件数】

- ▽カック内は、うち無施錠件数
 - ▽自転車盗 60件 (44件)
 - ▽車上ねらい 39件 (27件)
 - ▽オートバイ盗 11件 (8件)
 - ▽自動車盗 3件 (1件)
 - ▽空き巣 14件
- ※伊万里警察署管内(伊万里市・有田町)における暫定値(1月～10月)

万引き

万引きの認知件数は、刑法犯認知件数のうち最も高い割合を占め、高い水準で推移しています。さらに、万引き被疑者に占める少年・高齢者の割合は全国平均を上回っていて、近年、万引き被疑者のうち高齢者の数が少年の数を上回るという現象が生じています。

【検挙件数】

- ▽万引き 792件
 - (うち20歳未満 189件)
 - (うち65歳以上 276件)
- ※平成24年中の県内における件数
- 【対策】積極的な声掛けを行うなど、地域が一丸となって、万

振り込め・特殊詐欺

引きをしない、させない、ゆるさない雰囲気づくりをする。

近年は、振り込め詐欺なども手口が巧妙になり、冷静な判断ができないようにしむけます。特殊詐欺は、電話をかけるなどして対面することなく欺き、指定口座への振り込みなどにより、現金などを騙し取る犯罪です。新たな手口は、金融商品などの取引名目やギャンブル必勝法などの振り込め詐欺などがあります。

【発生件数】

- ▽振り込め詐欺 21件
 - 被害総額約6千万円
- ※1月～10月17日の県内における暫定値
- 【対策】「ATMに行つてください」などという電話を受けたり、一人で判断せず、振り込む前に必ず家族や警察に相談する。

気をつけよう!

身近なところでこんな被害があります

◆事例1

Aさんは、朝急いでいたので、鍵を掛けずに自転車を駅に置いて出かけ、昼過ぎに駅へ戻ったら自転車から盗まれていた。

◆事例2

Bさんは、イベントに行つて、財布が入つていないから大丈夫だと思いい、バッグを車の助手席に置いたままにしていたら、戻ると窓ガラスが割られ、バッグが盗まれていた。

◆事例3

Cさんは、ほんの少しの時間だったので、玄関の鍵を掛けず、家の裏の畑に野菜を取りに行つて戻つたら、玄関に置いていた財布入りの手提げ袋が盗まれていた。

これらの被害は、私たちの日常生活のなかで起きています。しかし、どれもが、少し気をつけていれば防げたのではないのでしょうか。

あなたは大丈夫?

防犯チェック!

あなたは何個チェックできますか。常に次のことを心掛けて行動しましょう。

▶自転車盗

- 鍵は2つ以上掛ける。
- 防犯登録をしている。
- 見えるところに氏名を書いている。
- 自転車から離れるときは、短時間でも鍵を掛ける。
- 自宅の敷地内でも鍵を掛ける。
- 短時間でも、路上ではなく、駐輪場に止める。

▶車上ねらい・自動車盗

- バッグや貴重品を車内に置いたままにしない。
- 車から離れるときは、短時間でも鍵を掛ける。
- 盗難防止装置を取り付けている。

▶空き巣

- 玄関には2つ以上の鍵がついている。
- 家を空けるときは、短時間でも鍵を掛ける。
- 家の周りに合鍵は隠さない。
- 防犯ライトや防犯用のガラスを取り付けている。
- 留守にするときは、近所に声を掛ける。

▶振り込めなどの詐欺

- お金を要求する電話があつたら、警察などに相談する。
- 家族とは、普段から頻繁に連絡を取り合っている。
- 合い言葉として、家族にしか分からないこと(好きな食べ物など)を決めていて、不審な電話には合い言葉を確認している。
- 公的機関を名乗る還付金の電話は、番号を調べて掛け直す。
- 身に覚えのない請求は支払わない。
- もうかる話は詐欺だと思う。

防犯に対する取り組み

地域や学校、事業所、店舗、警察、市は、防犯に関して具体的にどのような取り組みをしているのでしょうか。また、私たちにできることは何でしょうか。日ごろから防犯に取り組んでいる人たちにその思いを聞いてみました。

1 地域

地域においては、13各町の防犯協会を中心にPTAや学校、子ども会、老人会などからなる『子ども見守り隊』を結成し、子どもたちの見守りが行われていて、地域住民の防犯意識の高揚にも一役買っています。また、あい

さつ運動や美化活動、110番の家の設置や防犯マップの作成、防犯パトロールの実施など、地域ぐるみでの活動も行われています。さらに、防犯協会では、各種団体との連携を行いながら、小学校新一年生への防犯ブザーの贈呈や防犯カメラの設置費用の補助などが行われています。



子どもたちの下校時に見守り活動を行う地域のみなさん



学校、PTAなどが連携して行うあいさつ運動



インタビュー

地域で見守り活動などに取り組んでいる石堂政二さん(大川町)にインタビューしました。



市防犯協会
副会長 石堂政二さん

市防犯協会では、警察をはじめ、地域ぐるみで防犯活動を行っています。私の住む大川町では、各種団体との連携のもと、子どもたちの登下校時に合わせて防犯パトロールを行っています。また、日ごろから警察などと情報交換を行い、特に老人会には振り込め詐欺などに注意するように呼びかけるなど、高齢者の防犯意識の高揚にも努めています。その甲斐もあってか、怪しい電話が数件あったようですが、いずれも未然に防ぐことができ、被害にあわずに済んでいます。

これから年末に向けて、継続して活動に取り組んでいきたいと考えています。

2 事業所

事業所や店舗などで、防犯を意識したさまざまな活動が行われています。建物周辺の美化活動もその一つで、まちを美しくすることで犯罪が起りにくくなると言われています。また、年末に発生しやすい強盗や盗難などへの対策として、防犯訓練や店舗内外への防犯カメラの設置を行うとともに、来客者への積極的な声掛けを行うなど、日ごろから防犯を意識した活動が行われています。これらの活動は、地域との連携や情報交換、また、警察との協力体制が欠かせないものとなっています。



インタビュー

防犯を意識した店舗を経営している瀬戸口 潤さんにインタビューしました。



瀬戸町にある
コンビニエンスストア
店長 瀬戸口 潤さん

私の店舗では、開店と同時に、防犯協会の補助を受けて防犯カメラを設置しました。万引きなどのトラブルは、自分の店舗だけの問題ではなく、地域全体の問題だと考えています。

幸い、私の店舗ではこれまで大きな事件は発生していませんが、他店で事件を起こした犯罪者が逃走して来ること考えられます。防犯カメラの映像提供など、警察への協力や情報交換をしながら連携して防犯活動に取り組んでいます。

これから年末に向け、特に夜間、深夜は犯罪が起こりやすくなりますので、今後とも常に防犯を意識した体制や店舗づくりを進めていきたいと思っています。



昨年警察と合同で行った金融機関の防犯訓練



「ロックの日」に、市防犯協会や子どもたちが行った「鍵掛け」の啓発活動

3 警察

年 年末始の期間中は、金融機関やコンビニエンスストアなどを対象とした強盗事件の発生や空き巣、忍び込みなどの侵入犯罪、自転車盗などの街頭犯罪の増加が懸念されます。

そこで、警察では『年末・年始特別警戒隊』を編成して、犯罪抑止活動を強化しています。金融機関はもちろん、駅駐輪場やコンビニエンスストア、大型量販店などを重点的に警戒して、不審者に対する職務質問を徹底し、自転車など乗り物の照会を強力に推進しています。

地域住民の皆さんのご協力のもと、安全で安心して住める地域づくりをめざします。

4 市

防 犯に関する各種団体と連携による啓発活動を実施、推進するとともに、市独自では、夜間の事故や犯罪の未然防止を図り、安全を確保するため、各行政区における防犯灯の設置について、その費用の一部を補助しています。皆さんの周りに気になる暗がりがあり、防犯灯を設置したほうが良いと思われる場合は、その設置について区長さんへ相談してください。



防犯灯は、犯罪防止に役立っています

◇防犯灯設置費補助金制度◇

- 補助対象事業者 行政区
- 補助金額
防犯灯設置事業費の1/2、上限1万円
- ※平成24年度の補助実績 84件
- ※平成23年度の補助実績 80件
- ※平成22年度の補助実績 104件

犯罪のない安全安心な地域をめざして

地域や学校、事業所、店舗、警察、市における取り組みなどを紹介しましたが、さらに犯罪を減らしていくため、また、犯罪被害にあわないために私たちはどのようなことを考えて行動すればよいのでしょうか。警察、市でそれぞれ防犯に携わっている2人に聞いてみました。



伊万里警察署生活安全課課長 首藤 隆則 さん

防犯を意識して行動を

防犯のためには、玄関の鍵かけなど基本的なことの徹底はもちろんです。特に重要なのは、家族で話す場を設け、家族の絆を大切にすることだと思えます。この絆が、振り込め詐欺などを防ぐことにもつながります。また、地域との絆も大切で、「地域みんなで犯罪の芽を摘み取る、一人ひとりが主役なのだ」という意識を持つことが重要です。このほか、犯罪者は人の目を

嫌いますので、散歩やゴミ出しでも構いませんので、できるだけ外出して、声掛けをお願いします。もしも、皆さんの周りで何か不審な情報やおかしいと思うことがあったら、迷わず110番してください。

●問合先 伊万里警察署 (☎033144)

事件事故 すばやくあわてず 110番

- ▶同番なしで『110』をプッシュしてください。具内どこからかけても警察本部につながります。
- ▶110番通報～何を言えばいいの？『何があった』、『いつ』、『どこで(場所や目標を)』などを係官が順番に聞きますので、質問に答えれば大丈夫です。



総務課行政係 係長 岩崎 克信

年末は、何かと慌ただしく、犯罪が起きやすい時期です。「自分は大丈夫だろう」と油断せず、施錠を徹底するなど、常に防犯意識を持ち、犯罪被害にあわないように注意しましょう。また、最近では、高齢者が孤独感から万引きをしようとする、加害者となってしまうケースが、市内においても増加しています。地域において孤立する人がないように、近所での声掛けなどに努めてください。

これから年末年始は、警察による犯罪の取り締まりが強化される時期ですが、犯罪を防ぐには、何といたっても地域で暮らす皆さんが、日ごろから、周囲に目配りをするところのほか、学校、PTA、各種防犯団体、事業所、市などが連携しながら防犯活動に取り組むことが重要です。地域総ぐるみで、さらなる防犯活動に努め、明るい年末・年始を迎えましょう。

地域ぐるみで防犯活動を